



特定非営利活動法人  
日本ボランティアコーディネーター協会  
2015 年度 事業報告

東日本大震災からまもなく5年が経過する。JVCA では 2011 年以降、福島県を中心に避難生活を続ける人々を支える専門スタッフ養成の一端を積極的に担ってきたが、3月に助成金が終了したのを契機に現地に赴いての定期的な支援活動を終了した。しかし、いまだきめ細かい支援が必要な状況やエリアがあり、その後も現地団体からの研修講師派遣依頼に応じて、生活支援相談員等の研修企画と実施のサポートを継続している。

第3期中期ビジョンで掲げた JVCA の重点事業である〔全国ボランティアコーディネーター研究集会〕〔研修講師派遣〕〔ボランティアコーディネーション力検定〕においては 2015 年度の目標を達成することができた。一方、研修体系づくりなど、計画を達成することが出来なかったものもある。

2015 年度は当初に組織基盤の強化を目標に掲げ、会員・顧客データベースの統合や前年度後半に再編した各種委員会の取り組みの活性化などを進めてきたが、大きな成果を上げるまでには至っておらず、2016 年度の課題となった。

まずは、2015 年度の事業の重点についての成果を振り返る。

●重点1 ● 第3期中期ビジョン（2014－2018）にもとづいたアクションプランを実施する

〔第3期中期ビジョン〕にもとづき、中長期的な目標を見すえながら各種の事業を実施した。アクションプランに掲げた既存事業の本年度数値目標についてはおおむね達成した。

- ex. 講師派遣受託数 目標 90 件→実績 93 件、  
3 級検定受験者数 目標 500 人→実績 657 人  
全国ボランティアコーディネーター研究集会参加者 定員 250 人→実績 323 人

●重点2 ● ボランティアコーディネーション力検定の受験者を拡大し、社会への浸透を図る

ボランティアコーディネーション力検定受験者は 2015 年度末で 3 級 3,569 人となった。2 級 534 人、1 級 114 人という数字になっている。3 級検定については共催が計画上は 8 回の予定であったが、これを上回る 11 回となり、都道府県社協・大学を中心に全国各地での開催が実現できた。

●重点3 ● 職務としてのボランティアコーディネーションの質を高めるために、

実務者向けの研修体系を作成し、一部試行する

中堅ボランティアコーディネーター向けの実践型研修については、前年に引き続き 2 級検定合格者レベルを想定した〔ボランティアプログラム開発〕をテーマにした研修を東西で実施した。また、応用編として〔業務改善〕の研修を試行した。研修開発委員会での実務者向け研修体系の策定についてはフレームづくりの段階から進められなかった。

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2015大阪」の開催及び評価

大阪ボランティア協会の協力（事務局業務委託）により、大阪市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2015を開催した。プログラムの企画・立案については関西圏のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会が行った。

（実行委員長：早瀬 昇氏）

テーマ：超・声・肥える♪ “ボランティアコーディネーション”

～カギは「越境」と「わくわく感」～

期 日：2015年 2月28日（土）～3月1日（日）

会 場：ドーンセンター、OMM、CANVAS 谷町、ホテル京阪天満橋

分科会：26分科会

参加者：323人

実行委員：47人

協力者： 6人

運営ボランティア：52人

講師・事例報告者等：73人

（実行委員との重複あり）



実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第9回	1月10日（土）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	34人
第10回	2月7日（土）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	34人
第11回	3月22日（日）	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	39人

## ②「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2016」（開催地：神奈川県横浜市）の準備

横浜市社会福祉協議会との共催で横浜市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2016を開催することが決定した。

プログラムの企画・立案については関東圏のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会を設置し実施している。第2回実行委員会では、本会正会員である仲丸等氏を実行委員長に選出した。

12月の月上旬には開催要項およびチラシが完成し、全国各地の関係団体へ一斉に発送を行った。

### 実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
準備会	4月23日（木）	横浜市社会福祉協議会ボランティアセンター	6人
第1回	6月7日（日）	横浜市社会福祉協議会ボランティアセンター	17人
第2回	6月27日（日）	横浜市港北区社会福祉協議会	20人
第3回	7月26日（日）	横浜市中区社会福祉協議会	21人
第4回	8月30日（日）	横浜市中区社会福祉協議会	19人
第5回	9月19日（土）	横浜市鶴見区社会福祉協議会	22人
第6回	10月11日（日）	ウイリング横浜	23人
第7回	10月24日（土）	横浜市中区社会福祉協議会	22人
第8回	11月8日（日）	横浜市中区社会福祉協議会	18人
第9回	12月6日（日）	東京ボランティア・市民活動センター	19人
要項発送	12月18日（金）	JVCA事務所	12人

## （2）研修の開催および研修企画の支援

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 計画：1回・1カ所
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 計画：2回・2カ所
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 計画：2回・4カ所
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 計画：8回

※ ボランティアコーディネーションカ検定の直前研修については、次の（3）の検定の項目でまとめて報告する

### ⑤各種研修セミナーの開催

・初心者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修 計画：2回（大阪・東京）

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修 (第41期 ボランティアコーディネーター 養成講座)	7月11日(土) 大阪市西区民センター	石井祐理子 岩本 裕子 南 多恵子 岡村こず恵	58人
ボランティアコーディネーター基礎研修	7月16日(木) ルーテル市ヶ谷センター (東京)	唐木理恵子 倉本 泰孝 後藤麻理子	52人

・実践者向け：ボランティアコーディネーター研修（基礎：科目別） 計画：2回

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター実務研修 「ボランティアプログラム開発」@大阪会場	8月9日(日) 大阪府社会福祉会館	筒井のり子	10人
ボランティアコーディネーター実務研修 「ボランティアプログラム開発」@東京会場	8月11日(火) 東京文化会館	小原 宗一	12人

・実践者向け：ボランティアコーディネーター研修（応用：業務改善） 計画：2回

タイトル	期日・会場	講師	参加者
振り返りを業務改善につなぐ ～良くするカギはプロセスのなかにある	11月23日(祝・月) 東京文化会館	加留部貴行	4人

### ⑥研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVC Aの理事・役員等を派遣した。

派遣93件 研修日数114日 / 派遣講師16人(実人数)

・新たな講師派遣先を開拓するために、都道府県・政令指定都市社会福祉協議会や都道府県行政の研修担当ならびに市民協働担当の部署などに「講師派遣・紹介のご案内」チラシを配布した。

・12月には、本会が実施できる「講師派遣：研修メニュー」と「講師リスト」を作成し、上記の「講師派遣・紹介のご案内」とともにWEBサイトに掲載した。

・都道府県・政令指定都市社会福祉協議会ならびに全国のNPO・市民活動などの中間支援センターを対象に「ボランティアコーディネーションに関する研修のアンケート」(Eメールによる)を実施し、同時に本会が行う講師派遣事業の案内も行った。

調査期間：11月4日～11月26日

調査件数 : 436件 (うち社協 67件、中間支援センター 369件)  
 回答件数 : 87件 (うち社協 38件、中間支援センター 49件)  
 回収率 : 20.0%

**⑦東日本大震災・被災地の復興に向けた生活支援コーディネーターの養成と強化**

- ・生活支援相談員等に対する研修企画・実施への協力

新任の福島県内の生活支援相談員等への研修への講師派遣を行った。

- ・浪江町社会福祉協議会への支援 (赤い羽根「ボラサポ」助成事業 : 3月まで)

福島県内に幅広く避難している浪江町住民を支える浪江町社会福祉協議会の生活支援相談員に対して、研修やスーパービジョンなどを通じた継続的なフォローアップを行った。

本事業については、助成元の中央共同募金に成果を報告し、配分金額 (1,780,299円 : 当法人の事業年度の関係で本年度は残金の780,299円を収入) が確定した。

<事例検討会の開催>

期日	会場	対象	講師
3月5日 (木)	浪江町社会福祉協議会	浪江町社会福祉協議会/ 二本松市社会福祉協議会 (生活支援相談員)	井岡 仁志 (高島市社協) ○アシスタント 栗原 穂子 後藤麻理子

**(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施、認定システムの開発**

**①ボランティアコーディネーション力 1級検定試験の実施** 計画 : 1回

本年度第1回 (通算第4回) ボランティアコーディネーション力 1級検定の直前研修を開催するとともに、別日程で1級検定試験を東京と大阪の2会場で実施した。

開催地・会場	期日	講師	受験者
<第1回> ウイング横浜	9月12日 (土) ~9月13日 (日) 1日目 : 直前研修 2日目 : 直前研修	筒井のり子、早瀬 昇、 小原 宗一、岩井 俊宗、 土屋 環	24人
【東京】 飯田橋セントラルプラザ	9月27日 (日) 試験		11人
【大阪】 ドーンセンター			12人

<第1回 (通算第2回) 1級検定 試験結果>

受験者数	23人	合格者数	10人	合格率	43.5%
------	-----	------	-----	-----	-------

②ボランティアコーディネーションカ2級検定試験の実施 計画：2回・2カ所

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第2回> 通算 11回 東京会場 北とぴあ	8月22日（土） ～8月23日（日） 直前研修 & 検定試験	後藤麻理子 小原 宗一 疋田 恵子 栗木 梨衣	46人
<第1回> 通算 12回 大阪会場 大阪府社会福祉会館	10月31日（土） ～11月1日（日） 直前研修 & 検定試験	筒井 のり子 早 瀬 昇 後藤麻理子 栗木 梨衣	42人

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	東京	大阪	合計
受験者数	46人	42人	88人
合格者数	30人	27人	57人
合格率	65.2%	64.3%	64.8%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施 計画：2回（主催）

<第1回検定の実施> （通算第19回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 飯田橋セントラルプラザ <東京都社会福祉協議会との共催と同時開催>	6月20日（土） ・直前研修 ・検定試験	唐木理恵子 後藤麻理子	57人
大阪会場 エル・大阪 大阪府立労働センター <研修共催：大阪ボランティア協会>		加留部貴行 竹田 純子	51人

<第2回検定の実施> （通算第20回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター <研修共催：東京ボランティア・市民活動センター>	12月12日 （土） ・直前研修 ・検定試験	鹿住 貴之 阿南健太郎	61人
大阪会場 大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>		岡村こず恵 垂井加寿恵	50人

<第1・2回 3級検定 試験結果>

試験結果	第1回		第2回		合計
	東京	大阪	東京	大阪	
受験者数	57人	51人	61人	50人	219人
合格者数	44人	44人	58人	43人	189人
合格率	81.5%	86.3%	95.1%	86.0%	86.3%

<共催検定> (計画 8回)

共催団体	期日	講師
①東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	6月20日(土)	唐木理恵子 後藤麻理子
②静岡県社会福祉協議会	7月25日(土)	唐木理恵子
③長野県社会福祉協議会		筒井 のり子
④福井県社会福祉協議会	9月14日(月)	妻鹿ふみ子
⑤新潟大学ボランティア本部「ボランち。」	9月26日(土)	三田 響子
⑥名古屋学院大学		上田 英司
⑦龍谷大学	10月17日(土)	筒井 のり子
⑧一般社団法人生き方のデザイン研究所(北九州)		公文真理亜 加留部貴行
⑨東北学院大学	11月7日(土)	三田 響子
⑩特定非営利活動法人ぼらんたす		唐木理恵子
⑪栃木県老人福祉施設協議会・白鷗大学	12月12日(土)	唐木理恵子

<共催検定 試験結果>

	①	②	③	④	⑤	⑥
受験者数	55人	20人	27人	29人	61人	35人
合格者数	44人	17人	24人	22人	54人	16人
合格率	80.0%	85.0%	88.9%	75.9%	88.5%	45.7%

	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	合計
受験者数	33人	52人	29人	25人	72人	438人
合格者数	28人	41人	12人	18人	60人	336人
合格率	84.8%	78.8%	41.4%	72.0%	83.3%	76.7%

#### ④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1 級
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター	1 級
4	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1 級
5	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1 級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1 級
○☆ 7	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	2 級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2 級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2 級
10	垂井 加寿恵	神戸学院大学	2 級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2 級
☆12	加留部貴行	九州大学	3 級
13	唐木理恵子	紬ワークス	3 級
14	上田 英司	N I C E	3 級
15	足立 陽子		3 級
16	三田 響子	相模原市社会福祉協議会	3 級

・各級チームミーティングの開催

≪ 1 級検定チーム ≫

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	6 月 2 日 (火)	J V C A 事務所	4 人
第 2 回	7 月 18 日 (土)	J V C A 事務所	4 人
第 3 回	8 月 13 日 (木)	J V C A 事務所	4 人
第 4 回	10 月 10 日 (土)	J V C A 事務所	4 人

≪ 2 級検定チーム ≫

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	5 月 30 日 (土)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	4 人
第 2 回	7 月 5 日 (日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	4 人
第 3 回	7 月 20 日 (月・祝)	ライブピア本山 (名古屋)	5 人 ※内 1 人 Skype
第 4 回	8 月 2 日 (日)	大谷大学	5 人
第 5 回	10 月 4 日 (日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	3 人



« 3 級検定チーム »

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	2 月 13 日 (金)	J V C A 事務所	4 人
第 2 回	3 月 7・8 日 (土/日)	J V C A 事務所	4 人
第 3 回	4 月 4・5 日 (土/日)	J V C A 事務所	4 人
第 4 回	5 月 24 日 (日)	J V C A 事務所	4 人
第 5 回	8 月 3 日 (月)	J V C A 事務所	4 人
採 点	10 月 3 日 (土)	J V C A 事務所	3 人
第 6 回	10 月 13 日 (火)	J V C A 事務所	4 人
採 点	10 月 27 日 (火)	J V C A 事務所	2 人
採 点	11 月 17 日 (火)	J V C A 事務所	2 人
採 点	12 月 19 日 (土)	J V C A 事務所	2 人

⑤『ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキスト』の改訂

⇒1 級検定テキストを微修正して、受験者に送付した。

⑥『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の改訂

⇒2 級検定サブテキストを修正・編集し、受験者へ送付した。

⑦検定合格者 (3 級・2 級) に対するメールマガジンの提供 (計画 : 各級年 2 回)

(検定合格者向けプロジェクトチーム担当)

- ・3 級ホルダー通信 2 号 発行日 : 4 月 7 日
- ・2 級ホルダー通信 2 号 発行日 : 4 月 20 日
- ・3 級ホルダー通信 3 号、2 級ホルダー通信 3 号は 1 月発行に変更し、準備を行った。

⑧ 1 級・2 級検定合格者フォローアップ研修の開催

全国ボランティアコーディネーター研究集会 2015 (大阪) の前日企画として、「ボランティアコーディネーションカ検定 1・2 級合格者の集い」を企画し、実施した。

タイトル	期日・会場	ホスト・企画	参加者
ボランティアコーディネーションカ検定 1・2 級合格者の集い	2 月 27 日 (金) 19:00~24:00 CANVAS 谷町 豊ルーム	長谷部 治 竹田 純子 永井 美佳 中野伊津子	22 人

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン (会員向け) の発行 (計画 : 月 1 回)

めるまが Co☆Co☆Net 第 116 号~第 127 号の発信 (12 回)

## ② J V C A 公式 facebook の運営

2014 年 10 月に開設した JVCA 公式 facebook を継続した。WEB 委員会を中心に運営のルールづくりやカバー写真の更新を行い、運営委員や事務局が交代で記事を掲載している。

## ③ JVCA リーフレットの増刷（3つ折り） 3,000 部

## ④ WEB サイトの充実

団体に関わる基本情報、等の修正個所の確認、年度更新情報を修正した。

トップページの注目情報などのデザインやレイアウトも充実させた。

WEB サイトを刷新するためにプロボノの協力を申請したが、不採択になった。

## ⑤ ボランティアコーディネーター「グッドプラクティス事例集」（仮称）の事例収集と編集

編集方針と体制を確定した。プロジェクトメンバーには筒井のり子、岩井俊宗、土屋 環の 3 人に事務局を兼ねて後藤麻理子が参加した。また、この事業については経費の助成を得るために民間助成団体に打診したが、該当するものはなかった。

## ⑥ ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

⇒このことについての WEB サイトへの追加はなし

## ⑦ 雑誌・新聞などへの寄稿 など

『月刊福祉 12 月号「ボランティアコーディネーターの現状と課題（執筆：後藤麻理子）」  
（全国社会福祉協議会発行）

## ⑧ 個別相談への対応

・会員メーリングリストによる会員相互の  
相談助言活動の促進  
悩み相談、意見発信、問題提起、  
情報交換など、会員メーリングリストに  
寄せられる相談を通して会員同士の  
コミュニケーションを促進した。  
会員メーリングリスト利用件数  
136 件

<相談・問い合わせ・調整件数> ⇒

・事務局に入った電話、Eメール、  
F A X 等での相談、問い合わせ、  
連絡などに対応した。

1,840 件

内 容	件 数
ボランティアコーディネーションに関すること	33
ボランティア活動に関すること	10
研修講師相談・依頼・手続き・調整	453
主催研修の日程／内容	119
J V C C に関すること	256
図書購入・照会	34
取 材	12
入会希望・問合せ	16
会員データ変更・退会	71
会費納入	84
事業協力・後援依頼	22
関係(者)団体連絡先照会	3
ボランティアコーディネーター力検定	650
震災関連	4
その他	73
合 計	1,840

⑨ 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふる・ふくしま」への運営協力

東日本大震災直後から運営をサポートしてきた福島県生活復興ボランティアセンター「はあとふる・ふくしま」（管理者：福島県社会福祉協議会）に協力した。（3月まで）

⑩ ボランティアコーディネーションについての普及啓発

⇒JVCAのPR、ボランティアコーディネーター基本指針、ご存知ですか？ボランティアコーディネーター（ポスター）の配付など、通常の情報提供を継続している

**（5）広報紙および出版物の発行**

①ニューズレター『Co★Co★Net』の発行 年3回（発行月：4月、8月、12月）

Co★Co★Net 第44号

特集：JVCC2015 [大阪] から ボランティアコーディネーターにとっての新たな課題  
4月30日発行 550部

Co★Co★Net 第45号

特集：WEBにまつわるボランティアコーディネーション  
8月28日発行 500部

Co★Co★Net 第46号

特集：知れば楽しくなる！スポーツボランティアの魅力とコーディネーションのポイント  
12月15日発行 500部

再掲②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト（加除式）の発行

⇒改訂版（微修正） 52部 7月31日発行 B5判 120頁

再掲③ボランティアコーディネーションカ2級検定テキスト（加除式）の発行

⇒改訂版（第2次） 121部 6月30日発行 B5判 160頁

再掲④『ボランティアコーディネーションカ検定公式テキスト』の改訂・編集

⇒5月20日（奥付は6月10日）に中央法規出版から3,000部を刊行した。

**（6）調査・研究活動の推進**

①JVCA認定ボランティアコーディネーターシステムの開発

「認定ボランティアコーディネーターシステム研究会」の継続

No	メンバー	所属
1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	東海大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
4（事務局）	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

認定システムについては2015年度に実施する予定で検討を進めていたが、実務研修を強化するために、「認定」の開始を延期した。(研究開発は継続)  
 次年度は研究会のメンバーを増強してのぞむことに決定した。

## ②「検定・認定システム化検討委員会」の継続

No	委員名	所 属	◎委員長	○副委員長
◎1	筒井のり子	龍谷大学		
○2	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会		
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター		
4	小原 宗一	北区社会福祉協議会		
5	早瀬 昇	大阪ボランティア協会		
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター		
7	赤澤 清孝	ユースビジョン		
8	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク		
9	上田 英司	N I C E		
10	沼田 多美	ブリッジフォースマイル (サポーター)		
11	門馬 優	TEDIC		
12	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会		

### <委員会の開催>

回	期 日	会 場	参加人数
第64回	1月10日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	5人
第65回	4月25日(土)	JVCA事務所	11人
第66回	6月7日(日)	JVCA事務所	7人
第67回	7月12日(日)	JVCA事務所	5人
第68回	8月13日(木)	JVCA事務所	7人
第69回	8月22日(土)	北とぴあ	6人
第70回	12月5日(土)	JVCA事務所	6人

## ③「検定・認定プロモーション委員会」の継続

検定システムの普及や、専門職としてのボランティアコーディネーターの社会的・組織的認知を向上させるための方策を検討する。⇒会議開催はなし

No	委員名	所 属	◎委員長
◎1	早瀬 昇	日本NPOセンター	
2	永井 美佳	大阪ボランティア協会	
3	長谷部 治	神戸市中央区社会福祉協議会	
4	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター	
5	河合 将生	NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime	

#### ④実務者向けボランティアコーディネーター研修体系の検討と試行

研修開発委員会を中心にボランティアコーディネーションの実務者向けの研修体系を検討し、取り組めるものから試行する。⇒会議開催はなし

#### ⑤その他、社会情勢に応じた情報収集と提供

新たな制度改正の動きをつかみ、現場へ影響についての情報や課題を分析する。

⇒JVCC2015 分科会企画にからめて、生活困窮者支援制度などの情報を収集した。

### (7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

#### ①C o C oサロンの開催・運営支援

・C o C oサロンの開催状況

日程	地域/分野	会場	参加人数	主な内容
1月28日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	5人	参加者の実践と交流を通して、ボランティアやボランティアコーディネーションについての情報交換を行った。
3月14日 (土)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立小倉 南障害者地域活動センター	21人	長沼豊理事をゲストの招き、最新著書『人が集まるボランティア組織をどう作るのか』を紹介いただき、学びと交流を行った。
5月26日 (火)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	9人	参加者の近況の情報交換を行うとともに、北九州で開催予定のボランティアコーディネーションカ3級共催検定の紹介をした。
6月30日 (火)	東京	JVCA 事務所	14人	「WEB にまつわるボランティアコーディネーション」をテーマに、インターネットを利用した情報発信の悩みを共有するとともに WEB サイト刷新の成功事例を学んだ。
7月29日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	7人	福祉施設等のボランティア受け入れに関わるメンバーで近況を報告し合い、情報交換も行った。
8月3日 (月)	長野	長野駅近隣店舗	7人	筒井のり子代表理事を招いて「新たな参加」を仕掛けたさまざまな地域での実践例や地縁型組織と NPO の関係などについて情報交換を行った。
9月25日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	10人	福祉施設等のボランティア受け入れに関わるメンバーで近況を報告し合い、情報交換も行った。
11月25日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	10人	福祉施設等のボランティア受け入れに関わるメンバーで近況を報告し合い、情報交換も行った。

12月2日 (水)	庄内	和定食 滝太郎	9人	地元の研修講師として赴いた早瀬昇理事を招いて交流のためのサロンを開催した。
12月11日 (金)	庄内	和食彩 匠家	4人	地元の研修講師として赴いた小原宗一副代表理事を招いて交流のためのサロンを開催した。

## ②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めている。

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
  - 幹事会への参加
  - 全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員会への参加
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参加
- ・第6回東アジア市民社会フォーラム（10月9日：中国・無錫（むしゃく）市）への参加
  - 発表内容：「市民社会の構築に不可欠なボランティアコーディネーター」（筒井のり子）
- ・他団体が実施（主催）する委員会等への協力、参加（委員委嘱）
  - i) 東京都中央区地域振興課：中央区協働推進会議 委員
  - ii) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
  - iii) 日本NPOセンター：評議員
  - iv) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティア・市民活動センター運営委員会アドバイザー
  - v) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 臨時委員
  - vi) 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふるふくしま」運営への協力
  - vii) キリン福祉財団：助成金選考委員
  - viii) 日本NPOセンター：東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト選考委員
  - ix) よこはま地域福祉研究センター：アドバイザーボードメンバー
  - x) チャリティホワイト新規プロジェクト：選出委員
  - xi) 東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
  - xii) 日本NPOセンター：知っておきたいNPOのこと（参加編）編集委員
  - xiii) 東京都生活文化局：共助社会づくりを進めるための検討会 委員
  - xiv) シャプラニール：評議員
- ・後援（名義使用の承認）
  - i) 日本精神保健福祉士協会全国大会／日本精神保健福祉士学会学術集会：日本精神保健福祉士協会
  - ii) ファンドレイジング・日本（FRJ2015／2016）：日本ファンドレイジング協会

## ■ 2 組織運営と財政

(1) 通常総会 2015年3月1日 大阪市内にて開催した。

正会員数 367人 定足数 184人

出席者数 231人 (会場46人、意思表示108人、委任77人)

審議結果 第1号議案 2014年度事業報告案ならびに決算案について

第2号議案 定款の変更について

第3号議案 2015年度事業計画案ならびに予算案について

第4号議案 賛助会員(個人)の会費額の改訂について

⇒第3号議案の予算の寄付金収入を15万円(gooddo)上方修正し、すべての議案が承認された。

## (2) 理事会

第8期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿

(2014年4月1日～2016年3月31日)

No.	氏名	所属先	地域
1	阿部 陽一郎	社会福祉法人全国社会福祉協議会(中央共同募金会から出向)	東京
2	井岡 仁志	社会福祉法人高島市社会福祉協議会	滋賀
3	鶴尾 雅隆	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会	東京
4	小原 宗一	社会福祉法人北区社会福祉協議会	東京
5	鹿住 貴之	認定特定非営利活動法人JUON(樹恩)NETWORK	東京
6	唐木 理恵子	紬ワークス	東京
7	鈴木 盈宏	認定特定非営利活動法人愛・地球博ボランティアセンター	愛知
8	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀
9	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボラン協ティア会	大阪
10	長 沼 豊	学習院大学	東京
11	長谷部 治	社会福祉法人神戸市中央区社会福祉協議会	兵庫
12	濱屋 伸子	公益財団法人京都市国際交流協会	京都
13	早 瀬 昇	大阪ボランティア協会/認定特定非営利活動法人日本NPOセンター	大阪
14	疋田 恵子	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会	東京
15	妻鹿 ふみ子	東海大学	神奈川

理事会の開催（計画：4回）

回	日程	会場	出席	審議事項
第50回	2月1日 (日)	JVCA事務所	15人	第1号議案 2014年度事業報告・決算案について 第2号議案 2015年度予算案について 第3号議案 定款の改正について
第51回	4月11日 (土)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	15人	第1号議案 検定・認定システム化検討委員会の委員の追加について
第52回	8月1日 (土)	JVCA事務所	14人	第1号議案 2015年度 上半期事業の進捗と予算執行状況について 第2号議案 認定ボランティアコーディネーターシステム開発の体制強化と財源確保について 第3号議案 JVCAのWEBサイトリニューアルのためのプロボノとの協働について 第4号議案 販売用資産廃棄の基準について
第53回	12月23日 (祝・日)	喫茶室ルノアール 四谷店 会議室	14人	第1号議案 2016年度事業計画案ならびに暫定予算案について 第2号議案 事務局職員の賞与および給与について 第3号議案 2016年度 ボランティアコーディネーション力検定試験委員の選任について

**(3) 監事監査**

2014年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日程 1月28日(水) 場所 JVCA事務所

監事

No.	氏名	所属	地域
1	安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー	東京
2	内野 恵美	内野公認会計士事務所	東京

**(4) 次期役員選任準備**

・第9期理事候補者選任選挙

告示 10月20日(火) - 投票締切: 11月10日(火)

選挙人 378人(被選挙人 370人) 投票者数 116人 投票率 30.7%

・役員候補者推薦委員会(選挙で当選した8人の理事候補者で構成)

日程 12月23日(祝・水) 出席 5人



## (5) 委員会

3月11日(水)に2015年度運営委員選考委員会を開催した。この結果をもとに次期(4月～翌年3月)の運営委員メンバーを代表理事に諮問し、応募者全員が任命された。

さらに、4月の運営委員会において、運営委員長に上田英司、副運営委員長に三田響子、西誠を選任した。

### ①運営委員会の設置 (計画:月1回・12回)

2015年度運営委員体制(2015.4-2016.3)

※所属は2015年度就任時のもの

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	塩澤 達俊	栃木	社会福祉法人栃木 YMCA 福祉会
4	土崎 雄祐	栃木	宇都宮大学
5	鯉淵 百合子	千葉	社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
6	足立 陽子	東京	
7	飯塚 和幸	東京	社会福祉法人西東京市社会福祉協議会
8	上田 英司	東京	特定非営利活動法人 NICE
9	唐木理恵子	東京	紬ワークス
10	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK
11	熊谷 紀良	東京	東京ボランティア・市民活動センター
12	後藤麻理子	東京	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
13	城 千聡	東京	社会福祉法人中央共同募金会
14	疋田 恵子	東京	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会
15	三田 響子	神奈川	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会
16	田中 利昌	愛知	名古屋市市民活動推進センター
17	渡邊 文人	愛知	特定非営利活動法人愛・地球博ボランティアセンター
18	野尻 紀恵	愛知	日本福祉大学
19	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
20	西 誠	京都	佛教大学
21	青山 織衣	大阪	社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会
22	早瀬 昇	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会/日本 NPO センター
23	岡村こず恵	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会
24	高宮城亜矢香	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会
25	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
26	今村 晃章	福岡	特定非営利活動法人ミディエイド
27	加留部貴行	福岡	九州大学

・運営委員会の開催

回	日程	会場	出席
第1回	1月18日(日)	キャンパスプラザ京都	13人
第2回	2月11日(祝・水)	シニアワーク東京	13人
第3回	3月15日(日)	特定非営利活動法人 NICE	9人
第4回	4月26日(日)	岸町ふれあい館(東京都北区)	17人
第5回	5月17日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	9人
第6回	6月14日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	9人
第7回	7月19・20日(土・日)	旅館・芳泉閣(合宿)	20人
第8回	8月8日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	11人
第9回	9月6日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	14人
第10回	10月25日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	7人
第11回	11月14日(土)	大野城市総合福祉センター	9人
第12回	12月6日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	19人

②各種委員会の運営

各種事業の推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を設置し、推進する。(活動実績は会議開催のみを掲載)

- i) 研修開発委員会 …基礎研修等やファシリテーション講座等の調整、準備、実施、実務研修体系づくり

■メンバー:後藤麻理子、小原宗一、加留部貴行

会議は開催せず、事業計画にある研修の企画、準備、新たな研修の試行等を行った。

- ii) J V C C企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会 2016 の開催地調整、2016 実行委員会への参加、次回 2017 開催地の検討

■メンバー:三田響子、唐木理恵子、土崎雄祐、野尻紀恵

回	日程	会場
第1回	4月23日(木)	横浜市社会福祉協議会(JVCC2016 準備会)
拡大	11月14日(土)	大野城市総合福祉センター(JVCC2017に向けて)

- iii) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、事業計画にもとづく活動予算の作成

■メンバー:早瀬 昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、鶴尾雅隆、飯塚和幸、土崎雄祐

回	日程	会場
第1回	2月11日(祝・水)	J V C A事務所
第2回	4月26日(日)	岸町ふれあい館
第3回	7月5日(日)	東京ボランティア・市民活動センター

第4回	7月28日(火)	JVCA事務所
第5回	9月5日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第6回	10月1日(木)	JVCA事務所
第7回	11月30日(月)	JVCA事務所

iv) WEB 委員会 … JVCA公式 facebook の運営、JVCAのWEBサイトの改善、メンテナンス

■メンバー：西 誠、高宮城亜矢香、足立陽子、橋口文博、城 千聡

回	日程	会場
第1回	1月12日(祝・月)	「比内や」吉祥寺店 ※Skype参加あり
第2回	1月18日(日)	キャンパスプラザ京都
第3回	4月22日(水)	JVCA事務所 ※Skype参加あり

その他、facebookのグループを使って協議や運営委員会等への提案資料を作成した

v) 地域プロモーション委員会…会員獲得のための戦略的なアプローチ、重点地域や事業とのリンク、課題ごとの会員ミーティングの実施

■メンバー：加留部貴行、熊谷紀良、岩浪武司、栗原穂子、足立陽子、岡村こず恵、青山織衣、今村晃章、山方 元

回	日程	会場
第1回	4月26日(日)	岸町ふれあい館
第2回	6月14日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス

### ③専門委員会の設置、運営

- i) 検定・認定システム化検討委員会(継続) ⇒「事業の推進(6)」に記載
- ii) 検定試験委員会(継続) ⇒「事業の推進(3)」に記載
- iii) 検定・認定プロモーション委員会(継続) ⇒「事業の推進(6)」に記載
- iv) 認定ボランティアコーディネーターシステム研究会(継続) ⇒「事業の推進(6)」に記載

### ④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

- i) 東日本大震災災害支援チーム ※ボラサポ助成 ⇒3月まで  
(井岡仁志、栗原穂子、筒井のり子、後藤麻理子)
- ii) C o C o サロンプロジェクトチーム ココサロンの開催呼びかけ、運営支援  
(鯉淵百合子、塩澤達俊、山方 元)  
⇒会議開催なし
- iii) 検定合格者向けプロジェクトチーム 合格者向けメールマガジンの作成、発信  
(田中利昌、疋田恵子、三田響子)  
⇒「事業の推進(3)」に記載

## (4) 会員拡大および会員サービスの充実

### ①顧客・支援者データベースの構築

Salesforce 導入により、会員データベースと他の事業参加者などデータを統合し、J V C A顧客・支援者データベースを構築した。過去のデータの一部を除いておおむね移行を完了した。

### ②会費等納入の利便性をはかるためのクレジット決済の導入

会費や寄付、検定受講料、書籍購入など、多忙な会員や受講者が比較的容易に入金できるようにクレジット決済を導入した。現在、会費、寄付金、検定料支払に対応している。これに伴い WEB サイトの該当ページをクレジット支払用の画面に修正した。

### ③会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーション検定合格者に対し、J V C C 2 0 1 5 開催と入会の案内を行った。
- ・主催研修ならびに講師派遣研修において会員勧誘のチラシを配布した。
- ・J V C C 参加申込みの際に簡易な手続きで入会できるように WEB 上の申込フォームに「会員になる」という項目を加え、入会を促した。その結果、9 人が入会した。
- ・会員勧誘のチラシをリニューアルし、研修受講者や検定合格者に配布している。

<年度末会員数>

会員種別	人数
正会員	378人
準会員	39人
賛助会員（個人）	43人
賛助会員（団体）	10団体
計	470人・団体

### ④会員継続への働きかけの強化

会員継続の願いとともに、会費納入方法についてクレジット決済を導入したことを周知した。

### ⑤賛助会費（個人）の改定

継続的なサポーターとしての賛助会員の拡大をはかるために会費を 3,000 円に引き下げた。会費の長期末納で自然退会になる方には賛助会員への移行も勧めている。

## (5) 事務局運営の充実

### ①事務局体制の充実

1月に代表理事、事務局担当理事による各スタッフへの個別面接（ヒアリングとスーパービジョン）を行った。これとともに、昨年常勤嘱託として採用したスタッフの勤務評価を行い、本人の意向もふまえ、2015年4月より正規職員への切り替えを行った。

上記職員より退職の申し出があり12月末付で雇用契約を解消した。

## (6) 財源の確保と財政運営

### ①事業収益の拡大

検定受験者を安定的に確保する。⇒共催検定については年間計画の件数を超えた。

講師派遣先を開拓する。⇒講師派遣・紹介チラシの配付を関係機関に行った。

### ②寄付者の拡大

認定NPO法人認定を受けて、税制上の優遇措置による寄付しやすさの活用と認定維持のため寄付者の一層の拡大に努める。〈コーディネーターみらい募金〉やくU-30 応援プログラム)など募金のテーマや用途を定め、寄付キャンペーンを展開した。

### ③助成金、委託事業などの活用

#### ・助成金の確定

昨年助成が確定した独立行政法人福祉医療機構（WAM）については大幅な参加者増となったが、おおむね採択された金額の範囲で実施し、採択通りの助成金が確定した。中央共同募金会「ボラサポ」についても、一部対象外経費が生じたが、ほぼ計画・予算通りの金額で事業を完了した。

#### ・gooddo の開始

gooddo（グッドゥ）は自分の応援したい社会貢献団体（NPO/NGO）を、誰でも、簡単に応援することができるソーシャルプラットフォーム。WEBサイトのJVCAページにアクセスしてクリックするだけで本人には金銭的な負担なく支援いただけるしくみである。参加申請、審査を経て、2月の途中から開始した。

<支援金確定額> ※10-12月の支援金は2016年度（2月）に入金

月	支援金額 計	クリック・シェア	いいね！・商品購入
2月	9,209円	7,686円	1,523円
3月	17,390円	16,870円	520円
4月	14,724円	13,924円	800円
5月	17,251円	16,595円	656円
6月	14,732円	13,968円	764円
7月	14,051円	13,662円	389円
8月	17,558円	17,093円	465円
9月	19,439円	17,158円	2,281円
2015年度分合計	124,354円	116,956円	7,398円
10月	15,165円	13,631円	1,534円
11月	17,840円	17,133円	707円
12月	14,530円	13,692円	838円

### ④「おサイフ通信」の発行

JVCA財政の厳しい状況を伝え、寄付をはじめとするファンドレイジングの知恵や協力を得るために、財政委員会からの通信を会員メーリングリストに発信した。

第3号 4月9日 配信／第4号 7月31日／第5号 10月20日